



## &lt;七日経・年忌法要と十三仏&gt;

1 初七日	不動明王
2 二七日	觀世音菩薩
3 三七日	文殊菩薩
4 四七日	普賢菩薩
5 五七日	地藏菩薩
6 六七日	勢至菩薩
7 七七日	藥師如來
8 百ヶ日	觀世音菩薩
9 一周忌	勢至菩薩
10 三回忌	阿彌陀如來
11 七回忌	阿彌陀如來
12 十三回忌	大日如來
13 三十三回忌	虛空藏菩薩



△勢至菩薩

勢至菩薩はサンスクリット語でマハースターマブラーーブタと言い、「偉大な威力を獲得した者」を意味します。真言は、「オン サン ザンサク ソワカ」です。この真言を唱えれば、煩惱が去り、悟るための智慧が得られるとさ

れています。この勢至菩薩と、觀世音菩薩・阿彌陀如來の三仏を阿彌陀三尊と呼び、勢至菩薩は阿彌陀如來の脇侍（信仰の中心となる仏の左右に控える仏）として祀られることが多く、左脇侍の勢至菩薩は仏の「智慧」の光を象徴しているといわれています。

## ツウの細道

十五夜には「お月見」をされる方もいるでしょう。月と団子を供えて月を愛てる、このお月見とはいつたために行うものなのでしょうか。農耕民族であつた日本人にとって秋は収穫の季節。豊かな実りへの感謝を月に捧げたのが「お月見」の始まりです。朝になればお日さまが、夜になればお月さまが大地を照らす。そんな当たり前だと思つてしまふことにも感謝ができる、これは古き良き日本人の心だと思います。

### ◆◆阿彌陀三尊◆◆

九月。暦の上では「白露」「秋分」と秋を感じさせる節気を迎えますが、実際はまだ暑い日が続く時期ですね。残暑で体調を崩さないよう、気を付けてまいりましょう。

さて今回は一周忌御本尊「勢至菩薩」のお話をします。興正寺の勢至菩薩は普照殿にいらっしゃいます。参道から歩いて五重塔を過ぎ、納経所まで来たら左へ。意外とお会いしたことがない方もいらっしゃるかと思いますので、今月の寺通を読んだらぜひお参りしてくださいね。

### ◆◆仏法遙かにあらず◆◆

人というのは心に留めておこうとしても時にとって大切な事でさえ忘れてしまう生き物です。お大師さまの言葉の中に「仏法遙かにあらず」とく諷め、智慧溢れる道理で論し、成仏への真つすぐな路を輝く光明で照らし、力と勢いを持つて導いてくださるのです。

勢至菩薩は百ヶ日本尊・觀音世菩薩と共に仏さまの国へ往生を促すことを役目としています。しかしながら勢至菩薩の慈しみと優しさは、觀音菩薩のように表面には現れません。觀無量寿經という經典の中に、「智慧を以て遍く一切を照らし、三途を離れしめて、無上の力を得せしむ故、『大勢至』と名づく」とあります。百ヶ日を過ぎ嘆き悲しむことを止め、旅立ちから一年を経た故人は、旅に馴れて仏の國へ向かうことをしばしば忘れてしまいます。そんな故人を勢至菩薩は、嚴父のごとく諷め、智慧溢れる道理で論し、成仏への真つすぐな路を輝く光明で照らし、力と勢いを持つて導いてくださるのです。

### 高野 正清

勢至菩薩は「あなたは本当は仏さま私たちに勢至菩薩は「あなたは本当は仏さまなのですよ、思い出しなさい。」と智慧の光を当て続けてくれているのです。

故人への供養や、古くから続いている風習など、大切なことを忘れないよう続けていくことも私たちの修行なのかもしれません。

心中にして即ち近し」とあります。仏の教えというものはどこか遠くにあるものではなく、すでに己の中にあるもの。私たちは自身の中にある仏の心に氣付いていないのではなく、もしかするに忘れてしまっているのかもしれません。そんな私たちは勢至菩薩は「あなたは本当は仏さまなのですよ、思い出しなさい。」と智慧の光を当てるのです。

## 寺通

### その二十七



合掌



## 【本堂】墓地・靈龕堂・法羅陀淨苑・永代納骨

お墓の有無にかかわらずどなたでもご参加いただけます

時間	19日(月・祝)	20日(火)	21日(水)	お中日 22日(木・祝)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○		○	○	
13:00	○	○	○	○		○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00		●	●	●	●	●	

## 【圓照堂】

お彼岸期間中はお通骨・お位牌はお出しできません

時間	19日(月・祝)	20日(火)	21日(水)	お中日 22日(木・祝)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○			
14:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○			
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00		●	●	●	●	●	

■は混雑が予想されます □はお受けできません ●受付・法会／西山本堂にて

## 秋季お彼岸のご案内

興正寺では秋のお彼岸の期間中、ご先祖さまや亡き方々への供養会を行います。家族が悉く暮らしていることを故人に報告し、感謝の気持ちを込めて心静かに手を合わせましょう。

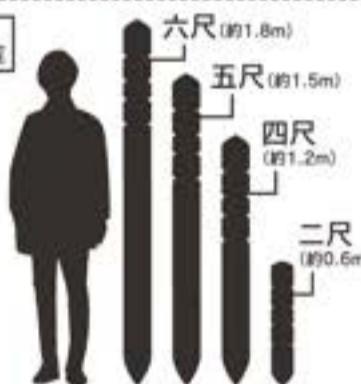
## ◆申込方法／来寺または郵送にて(予約優先)

※ご参加できない場合、遙拝供養(施主さま不参加でのご供養)も承ります。

九月十九日(月)～二十五日(日)

## ◎供養料

塔婆の大きさ	供養料(塔婆料含む)
六 尺	35,000円
五 尺	15,000円
四 尺	10,000円
二 尺	5,000円

卒塔婆  
サイズ一覧

興正寺の塔婆は、一本一本手書きです。

## ◎奉納料 千円

當山ではお彼岸のご先祖さまへの  
お供えとして「おはぎ」の奉納を承つ  
ております。

## 当日まで受付

奉納いただいた方は、  
お名前をあげさせていただきます。



## 奉納おはぎのご案内

## 期間中の諸法会ご案内

◆九月二十二日(木・祝)

九時三十分より 西山本堂  
興正寺施主慰靈法会

十三時より 参道

人形・仏具供養会

◆九月二十五日(日)

十一時より 西山本堂

特別永代祠堂法会



### あなたの祈りを灯りと共に 葵燈籠会

七月十三日からの七月盆にあわせ、葵燈籠会が行われました。期間中は合同供養会が厳修され、参拝者は亡き方々に想いを馳せながら手を合わせました。夜には無数の竹燈籠が境内を照らし、幽玄の空間が創り出されました。また当日は境内の三カ所で献灯を行うことができた「三燈一會」の蠟燭が授与され、参拝者は様々な願いを込めながら自らの手で灯を点しました。

# 八事山歳時記

### わらつて・わらつて・お寺で泊り会

小学生を対象にしたお寺でお泊り会が二日間に渡り行われました。子どもたちはみんなで並んで銭湯へ行ったり、花火や肝試しなどのレクリエーションを楽しむと同時に、作務や朝のおつとめ、座禅など、お寺でしか体験できない夏の時間を過ごしました。お寺でお泊り会は、夏休みの地蔵菩薩縁日にあわせて毎年七月と八月の二十四日前後に開催されます。

子どもたちと昔ながらの年中行事や四季折々の遊びを楽しむ子ども寺子屋くらぶが七月二十四日、竹翠亭にて開催されました。テーマは「夏のお便りを書こう」と、子どもたちは相手を思いうかべながら文字をつづりました。その後地蔵菩薩縁日に参加して楽しい夏休みの一日を過ごしました。



### 夏の子ども寺子屋くらぶ 夏のお便りを書こう



### お地蔵さまもにつこり 地蔵菩薩縁日

夏休みにあわせ、七月の地蔵菩薩縁日は大書院にて行わされました。お寺でおとまり会・子ども寺子屋くらぶに参加した子どもたも参加し、大いにぎわいました。子どもたちはおとづめのあと、紙芝居・菓子まきを楽しみ、境内のお地蔵さまに前かけ（よだれかけ）をお供えして手を合わせました。



夏の初めの一週間  
**夏休みラジオ体操**

夏休み恒例のラジオ体操が、七月二十一日(木)から二十七日(水)までの一週間、興正寺五重塔前で開催されました。ラジオ体操のあと、本堂内に場所を移しておつとめを行い、僧侶による法話に耳を傾けました。希望者により境内の掃除も行い、子どもたちを始め多くの父兄の方たちと清々しい朝の時間を過ごしました。



**お大師さまの誕生を祝う 青葉まつり**

真言宗の開祖である弘法大師空海の生誕を祝う法会「青葉まつり(降誕会)」が、七月十五日(金)に西山本堂にて厳修されました。盛夏の暑さにも関わらず、当日は弘法大師の誕生日を祝おうと多くの参拝者が訪れました。法会の後は大書院で「絵解き」が行われ、みな熱心に目と耳を傾けていました。



**樹木供養**

エスカレーター上部南側に保存樹「アベマキ」として長く愛されてきたコナラの木。老いが目立ち始めてからは樹木医にも治療していただき保護をしてきましたが、いよいよ寿命を迎えました。安全確保のための伐採にあたり、長年境内を見守ってくれたことに感謝して供養が行われました。



去る八月七日(日)十時より、布薩会が西山本堂にて厳修されました。参拝者は戒師より菩薩十善戒を授かり、仏教の戒律を守っているか、自己の行いを反省しました。終了後、参拝者は布薩を終えた証として菩薩戒牒に朱印が授与されました。

當山最古の法会 **布薩会**



△本店の外観。夜々とした店内にはJAZZが流れる



△昨年夏に行われた興正寺の「蕎麦打ち体験」の様子



## ●服部 隆さん

サラザン株式会社代表取締役。店名はフランス語の「blé sarrasin(蕎麦)」より。365日蕎麦を打ち、蕎麦を食す「無類の蕎麦好き」。蕎麦に多くの情熱を傾ける一方、趣味の水泳やサックス演奏にも勤しむ、多忙な日々を過ごす。

中部国際空港、名古屋駅前ミッドランドスクエア。愛知県の顔ともいべき場所に店舗をもう一つ。蕎麦工房紗羅餐。その経営者でありながら、自らも日々腕を振るう蕎麦打ち職人が服部さんだ。

大手企業で営業マンとして活躍していた服部さんの人生を大きく変えたのは長野県松本市で出会った二軒の蕎麦屋。品書きはなく、席に座ると酒と漬け物、そして蕎麦が出される。当時で千五百円。決して敷居は高くないが、唄を知らない。「蕎麦は、こんな商売ができる食べ物なんだ」と衝撃を受けた。その後、四十四歳で会社を辞め職人の道に入ることとなる。

やりたかった事は二つ。本物の手打ち蕎麦にこだわること。仲間を作る事。そして名古屋を日本一蕎麦の美味しい街にする事。蕎麦を通じてのコミュニティを育てる。と、店を持たずに活動した。店舗第一ではなく、蕎麦と人との大切にしてきた、その結果が今の紗羅餐なのだと。興正寺とはサンド・マルシェを通じて縁ができ、ヤゴトラカンの販売や蕎麦打ち体験が行われている。



## 人が好き蕎麦が好き 仲間と創る名古屋の蕎麦文化

蕎麦工房紗羅餐 代表取締役 服部 隆さん

人と街とお寺をつなぐ場所  
八事山文庫

長月

こと

夜がだんだん長くなる(夜長月)  
秋雨が降る(長雨月)

白露

九月七日

秋分

九月二十二日

夜中に大気が冷え草花や木々に朝露が宿りはじめる。降りた露は光り、キラキラとした白いねのよう見える。

太陽が東から昇り真西に沈む。昼と夜の長さは全く同じになるその日を中心とした週間が秋のお彼岸。

親子で読みたい  
ことのはあそび

「身口意」。  
身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。

## 蕎麦工房 紗羅餐

本店 名古屋市南区星崎1丁目147-3 TEL 052-822-8411  
【営業時間】11:30~14:30/17:30~21:00 年中無休

さつさ、すすきの 白い穂は  
風に吹かれて みなうごく  
さつさ、うごけば 白い手よ  
おいでおいでと みなまねく。  
さつさ、まねけば 雲のかげ  
月がちらりと 顔出した。  
さつさ お月さん 出した顔  
にこにこわらつて まんまるい。

水谷まさる「芒と月」(歌時計)より

月見と言えば「芒」なぜ「芒」を飾るのかには諸説あり、稲穂に見立てて月に豊穣への感謝をささげたためとも、夜を司る月読命が依代として降臨するためとも言われます。月に光を浴びて金色に光る芒。美しい光景です。



寺

通

宝

## 寺宝公開② 絵のなかの物語

芸術の秋。美術館や博物館、街なかのギャラリーなどで様々な展覧会が催されます。この時期、初めて出会う作品を、心待ちにしていらっしゃる方も多いのではないで

しょうか。

それらを鑑賞するにあたり、私たちが大きく影響されるものの一つが作品名です。

画家や書家など作者自身が付けたものもあれば、後世の人が付けたものもあります。作品名は作者が表現したかったものを端的に表わすのですが、先に知つてしまふことでそれに囚われ、想像する楽しみを失ってしまうことも。この秋、絵の楽しみ方としてこんな方法はどうでしょうか。

まず、絵に向き合い「主人公」を探します。そしてその主人公がどのような状態にあるのかを想像します。描かれているものから想像し、組合せ、二つの物語を作り上げていきます。



園丁村 東御茶番付：飞鳥



## 秋の子ども寺子屋くらぶ 『虫聞きのおはなし会』

- ◆日 時 平成28年9月24日(土)  
14時~18時
- ◆参加費 子ども 1,500円(呈茶付)  
おとな 500円(呈茶付)
- ◆申込方法 8月25日(木)より 竹翠亭またはWEBにて



## 興正寺 月釜

興正寺では、茶の湯文化に親しんでいただく機会として月釜を催しております。5月、7月、9月、11月は月釜(薄茶席二席)です。どなた様でも参加いただけます。

9月12日(月)10:00~15:00 二席/1,500円  
竹翠亭(薄茶席) 表千家 谷口宗久氏  
耕雲亭(薄茶席) 八事山興正寺

※茶券は前売りのほか、当日販売もいたします。

この絵のように、そぎ落とせるだけそぎ落とし、墨の濃淡のみで他に色も使われていない作品は、どこまで想像していくか、挑戦し甲斐があります。

自由に思い描いた物語を楽しんだ後、作品名を見てみます。さてさて、画家は何と言っているでしょう。

(川村)

ご婦人は、「まさか、またお茶会に出られるなんて思ってなかつたわ」とおっしゃりながら、とても嬉しそうです。あとで伺つたところ「実は事故にあってね、歩くことができなくなるかもしれないって、お医者さまに言われた時、自棄になつてお稽古を始めたお茶のお道具も捨ててしまつたの。リハビリを頑張つて、なんとか歩けるようになつたけど、まさかまたお茶会に…」と。

そして「今日はいい一日になつたわ」と、何度もお礼を言つて下さりお帰りになりました。



**竹翠だより**  
お茶が教えてくれた  
あわせ

寺のお茶室でお抹茶を一眼と、ご婦人がおひとりで足を運んで下さった日は、ちょうど月釜の日でした。「あら、今日はお抹茶頂けないのかしら」係りの者が、「今日は月釜で、いつもお皇茶でありますから、ぜひお席にお入りください」とお勧めすると、ご婦人は「でも正座になりますか」とお尋ねしました。

「では椅子をご用意しましょう」

恐縮されるご婦人に、低い椅子を用意して、係りの者も隣に一緒に座りました。

「では椅子をご用意しましょう」

係りの者が、「今日は月釜で、いつもお皇茶でありますから、ぜひお席にお入りください」とお勧めすると、ご婦人は「でも正座になりますか」とお尋ねしました。

「それぞれの月釜」

# 縁日さんぽ。

縁日の行催事を中心に、興正寺の風景をお知らせしていきます!

**観音堂** 年に一度の秘仏開扉が行われます。

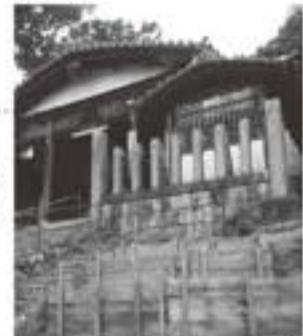


10月5日、13日。普段は閉められている扉が開き、本尊「正觀世音菩薩」さまにお会いすることができます。併せて特別護摩祈禱を厳修。ぜひご参拝ください。

観音堂秘仏開扉 10月5日(水)・13日(木)  
開扉法要 9時より  
秘仏開扉特別祈願(10時~14時)※特別祈願料1,000円

**大日堂** ドウダンツツジの花壇準備中

大日堂斜面にドウダンツツジを咲かせるプロジェクト、皆さまの力を借りて着々と進行中です!花壇は大日堂向かって右手。植樹面積の関係上、植樹本数が限られています…。ご希望の方はお早めに!



**能満堂** お地蔵さまの前かけチェンジ!

夏休みのお地蔵さま縁日、終わった後に子どもたちとお地蔵さまたちの前かけ(よだれかけ)を交換しました。お地蔵さま、喜んでくださっているでしょうか。



△回廊のお地蔵さまたち before



△回廊のお地蔵さまたち after

## お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!



## 大日堂にドウダンツツジを!

大日堂御堂下斜面にドウダンツツジを植樹いたします。植樹にあたり、勧募を行うことになりました。興正寺総本尊大日如来さまの御宝前を花でいっぱいにしましょう!

大日堂御堂 ▶



\*ドウダンツツジ勧募 (1口 1,000 円/先着 60 口)  
受付期間 7月21日 (木) から10月8日 (土) まで

### \*植樹祭

10月16日 (日) 12時30分より

勧募いただいた皆さまをお招きし、法会と植樹を行います。

(受付場所) 納経所にてお申し付けください。

△ドウダンツツジは漢字で「満天星」と書きます。

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。合掌  
至自 平成二十八年 七月一日  
平成二十八年 七月三十一日

△枚 菱田 操  
地蔵菩薩前かけ奉納 ご芳名  
(順不同敬称略)

△口 五口 關岡久子  
松見洋二  
溝口富久  
井田静子  
田中寿彦  
河邊範子  
土方富雄  
山田桂子  
鈴木佑一  
吉川和雄  
橋本知代子  
前田志げ子  
青山雅人  
渡邊清子  
水野真理子  
近藤乃里子

大日堂ドウダンツツジ勧募 ご芳名

## 今月の「標語」

お経典から、先達の書物から、言葉から。  
五重塔前掲示板よりご紹介します。

戒則謹慎三業不作非

吉山第五世妙應院龍大和尚著より  
ム教において戒めとは、身業(行為)  
口業(言語)意業(思想)をつづり  
悉業をなすめことである。

正優

△7月1日～ 三井 正優

定則澄淨心水不散亂

吉山第五世妙應院龍大和尚著より

三昧とは、心を水のように澄み淨ら  
かにして散れさせぬことである。

泰澄

△7月15日～ 森田 泰澄

## お坊さんと行く 興正寺団体参拝

平成28年度団体参拝予定

### 11月1日 (火) 仁和寺特別拝観と 清水寺月の庭「成就院」

【旅行代金】10,000円(昼食代含む)  
【申込締切】10月21日(金)

- 日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- 募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- 申込方法／ご来寺またはお電話にて ○支払方法／ご来寺にて前払い

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78

【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター  
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL 052-300-0011  
観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]  
旅行業公正取引協議会会員

### 永代供養受付(五重塔横 光明殿1階)より 「営業時間・定休日と予約優先制」のお知らせ

平成28年9月1日より

#### ●永代供養のご説明・ご相談は予約優先となります

永代供養に関するご案内・ご相談につきまして、混雑時のスムーズな対応のため、ご予約優先とさせていただくことになりました。持ち時間を短縮しスムーズにご案内できるように、ご来寺の前日までにお電話にて、ご予約賜りますようお願い申し上げます。

#### ●営業時間の変更と定休日のお知らせ

毎月5日を過ぎた火曜日を定休日とさせていただきます。この日は光明殿1階にはお立ち寄りいただけません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

営業時間 10時～17時(最終受付は16時30分) 定休日 毎月5日を過ぎた火曜日(9/6・10/11・11/8・12/6)



1.五重塔に向かって左手の建物へ



2.八琴庵が目印です。自動ドアを奥へ



3.ご相談お待ちしております

### ーお寺の法会まるごと体験！ー

いち にち しゅう よう え

## 一日修養会

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。

季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。

法会参加者には特別朱印の授与もございます。(一日修養会専用朱印台紙つき)  
もちろん、昼食と写経もございます。皆さまふるってご参加ください。

### 「法話・法会参加(奥之院大祭)・写経」

11月15日(火)10時～15時30分

#### 「奥之院大祭」～阿弥陀仏と強く縁を結ぶ～

阿弥陀仏は西方極楽浄土の仏さままで、もっとも親しまれ、人気のある仏さまのおひとりです。興正寺は東山本堂も西山本堂も阿弥陀仏が祀られ、真言宗でありながら阿弥陀仏信仰も厚いお寺です。年に一度、大祭という形で阿弥陀仏への敬信の想いを深め、阿弥陀仏の極楽浄土という理想郷を参詣者の皆さまと分かち合いたいと考えます。

○支具料：一般 2,300円 杜の響会員 1,300円  
(昼食付・特別朱印授与)

○定員：60名 要予約 ○申込締切：11月10日(木)

○お問合せ・お申込み：光明殿受付 / 0120-8510-78

※支具料が事前にお納めいただけるようになりました。

今後の予定 | 12月4日(日)  
日時・内容は変更することがあります。ご了承ください。

## 9月の興正寺講座

## 佛讃歌

## 御詠歌上級

9月8日・29日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

講師 鈴村隆弘

光明殿

## 御詠歌初級

9月12日・21日 14時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日は本堂出仕

講師 鈴村智弘

光明殿

## 体験する

## 阿息観

9月10日・30日 14時より

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ！

講師 杉浦宣秀

普照殿／奥之院

## 阿字観

9月はお休みです

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

講師 杉浦宣弘

奥之院

## 写経・写仏

9月21日 11時より

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。11時、13時より法話あり。

講師 樹田英伸

光明殿

## 健康づくり

## ゆらゆらペアストレッチ

9月13日 ①10時②11時30分より 普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

講師 町田一寿

## TERA-YOGA(寺ヨガ)

9月21日 10時より 普照殿

支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

講師 BIOTIC

## 女性のためのヨガ

毎週木曜日 19時30分より 西山本堂／普照殿

支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

## 学ぶ

## 仏教入門講座

9月はお休みです

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

講師 森田泰澄

普照殿

## 仏典読み解き講座

9月28日 10時より

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

講師 樹田英伸

普照殿

## 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

## 写経

9月6日

講師 西山海良

支具料1,500円

## 阿息観

9月27日

講師 西山海良

支具料1,500円

## 日々折々の書

9月26日

講師 中村 均

支具料2,000円

## 水墨画

9月23日

講師 山田静舟

支具料2,000円

## きもの装い(初級・中級)

9月7日・30日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

## 茶の古典を読む

9月8日

講師 樹田英伸

支具料1,500円

健康づくり(ゆらゆらペアストレッチ、TERA-YOGA、女性のためのヨガ)の3講座は興正寺公式ホームページよりWEB予約をすることができます。

\*他の講座もWEB予約ができるよう準備中です。



## 平成28年9月10日(土)

興正寺僧侶 樹田英伸による様々な学びの講座を体験いただく1日。仏教の心に触れ、心やすらぐひとときを。各講座、参加無料です。

会場 名古屋市南陽交流プラザ 2階  
住所 愛知県名古屋市港区東茶屋3丁目123番  
電話 (052)303-2322  
※講座に関するお問合せは、八事山 興正寺へご連絡ください。

## 講座の御案内

ご予約不要。

先着順にご案内いたしますので、開始10分前に各教室前にお集まりください。

1 個別直伝! お経ボイストレーニング ■時間 10:30~12:00  
■教室 2階 開音室にて  
■定員 15名(先着順)2 楽しく読み解く漫才絵解き ■時間 12:30~13:30  
■教室 2階 小会議室にて  
■定員 20名(先着順)3 初めてでもできる! お経を学ぶ写経入門 ■時間 14:00~15:00  
■教室 2階 小会議室にて  
■定員 15名(先着順)

## ~一日修行体験・特別篇~

## 終活道場

「死生観」を考える、お寺だからできること

自らの終わりを見つめることで、今を生きることを考え、自分を見つめ、自分らしく生きること。興正寺がご提案するお寺ならではの「終活道場」で、あなたの今を見つめなおしてみませんか。



9月11日(日)10時~16時 於大書院

支具料:3,500円(昼食付き) 定員:15名(先着予約制)

お問合せ・お申込:お電話(052-832-2801)またはご来寺にて

## 興正寺行事カレンダー

9月

普門園拝観時間 10:00~16:00

休園日/10日(土)・12日(月)・18日(日)・24日(土)

月	火	水	木	金	土	日
29 先負	30 仏滅	31 大安	1 友引 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約	2 先負	3 仏滅	4 大安
5 赤口 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○大般若經転読祈禱会 10:00 10:30 11:00 本堂	6 先勝 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良  ★八葉庵定休日 ★永代供養相談窓口 定休日	7 友引 白露 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円  ▽遊翠の心 想耕の茶 11:00 12:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	8 先負 ○大日如来 緑日 理趣分經祈禱 12:30 大日堂  ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 桜田 英伸  ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約	9 仏滅	10 大安 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	11 赤口 ☆純活道場 10:00 要予約
大隨求明王			大日如來			
12 先勝 ○御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ☆興正寺 月釜 表千家 谷口宗久 興正寺 薄茶二席 1,500円	13 友引 戌の日 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り 10:00 定例法話会 ○安産合同祈禱会 15:00 本堂 ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿	14 先負	15 仏滅 十五夜 ○東山 奥之院緑日 13:00 奥之院 善之網おくり ☆女性のためのヨガ 19:30 本堂 要予約 ☆観月会	16 大安	17 赤口	18 先勝 ○觀世音菩薩 緑日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話
	虛空藏菩薩		阿彌陀如來			觀世音菩薩
19 友引 敬老の日 彼岸入	20 先負	21 仏滅 ○弘法大師 緑日 10:30 弘法堂 讀經/法話 ○月並御影供 14:00 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約	22 大安 秋分の日 ○興正寺施主懇意法会 9:30 本堂 ○人形・仏具供養会 13:00 参道 ▽遊翠の心 茶の席 (要問合せ) ☆女性のためのヨガ 19:30 本堂 要予約	23 赤口 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	24 先勝 ○地藏菩薩 緑日 13:00 極楽堂 大數珠おくり/紙芝居 ○子ども地藏緑日 14:30 極楽堂 ☆子ども寺子屋くらぶ	25 友引 戌の日 彼岸明け ○特別永代祠堂法会 11:00 本堂 ○安産合同祈禱会 14:30 本堂
秋季彼岸合同供養会	墓地・靈廟堂・佑羅陀淨苑・永代納骨・一般檀信徒の方は本堂へ 圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ ※19時の回はすべて本堂にて行います。	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00	本堂 8:00 11:00 16:00 19:00	本堂 8:00 11:00 16:00 19:00
圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00 19:00*	圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00 19:00*	圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00 19:00*
		弘法大師				地藏菩薩
		興正寺マルシェ				
26 先負 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 仏滅 ▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良	28 大安 ○不動明王 緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ☆仏典読解講座 10:00 普照殿 桜田 英伸	29 赤口 ○御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ☆女性のためのヨガ 19:30 本堂 要予約	30 先勝 ○阿息觀 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	1 先負	2 仏滅
		不動明王				



## 月見団子祈禱

平成28年9月15日(木) 15時・18時(30分程度)

会場/五重塔南(平成大仏前)

★数量限定「祈禱済み月見団子」販売 ※予約受付中  
詳しくは八事山文庫2809号7ページをご覧ください。

## 月の観察会 ※雨天中止

平成28年9月15日(木) 18時~21時

会場/五重塔周辺

料金/無料